

「地霊」をテーマに都市を記録し続けてきた佐藤信太郎の
35年間のキャリアをカバーする、都市風景8シリーズを収録

佐藤信太郎 都市の相貌

場所がもつ特有の雰囲気「地霊（ゲニウス・ロキ）」をテーマに、都市に累積する歴史的なレイヤーと人の営みを写真で捉える写真家、佐藤信太郎。本書は、1990年から2025年の最新作までの、佐藤の全キャリアをカバーする8シリーズを収録した一冊です。

天空でも路上でもない非常階段という中間の眼差しで夕暮れ時に東京を撮影した『非常階段東京』（2009年日本写真協会賞新人賞受賞）や、東京スカイツリーの建設を多点観測した『東京|天空樹』（2012年林忠彦賞受賞）などの代表作はもちろん、専門学校在学中に制作した作品「平面都市」（1990）や、強い順光で昼間の街の姿を捉えた「街景」（1999-2002）、出版物としての発表が初めてとなる最新作「Boundaries」（2019-）などの未発表作も収録されています。

佐藤作品はその時代の最新技術を駆使しながら、被写体やテーマによって最適な方法論を選び取り、ストリートフォトからデジタルコラージュまで、その表現は自由自在に変化してきました。写真評論家の上野修は、写真集のために執筆された文章でその佐藤の営為を「工作者」と評しています。

町口覚による造本設計により、都市のダイナミズムと作家の幅広い写真表現を一気通貫でご覧いただける瀟洒な1冊として纏まりました。

昼と夜、具体と抽象、見えるものと見えないものを行き来しながら、「都市の相貌」を捉えようと歩んできた作家の35年間の軌跡をご覧ください。

500部限定、エディション・サイン入りです。

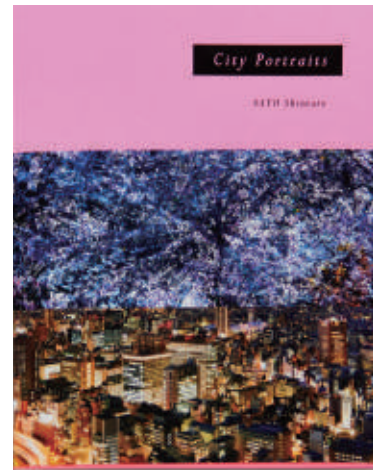


平面都市（1990-1991）



街景（1999-2002）

プロフィール：佐藤信太郎 Shintaro Sato 1969年東京生まれ。1992年、東京総合写真専門学校卒業。1995年に早稲田大学第一文学部を卒業後、共同通信社に入社。2002年よりフリーの写真家として活動始める。主な写真集に『Geography』（ふげん社）、『非常階段東京』『東京|天空樹』『夜光』（青幻舎）がある。受賞歴に、2012年林忠彦賞、2009年日本写真協会賞新人賞、2008年千葉市芸術文化新人賞。



佐藤信太郎『都市の相貌』

2025年11月16日

500部限定発行

エディション・サイン入り

著者 佐藤信太郎
寄稿 上野 修
造本設計 町口 覚

発行所 ふげん社
サイズ A4変形
仕様 糸かがり並製本・カバー
頁数 220頁
写真点数 176点
定価 11,000円(税込)
ISBN 978-4-908955-46-4

コンテンツ：

作品(全176点)
・平面都市(1990-1991)
・Geography(1992)
・夜光(1997-1999)
・街景(1999-2002)
・非常階段東京(2002-2008)
・東京|天空樹(2008-2016)
・The Origin of Tokyo(2016-2017)
・Boundaries(2019-)
テキスト
・佐藤信太郎「都市の相貌」
・上野修「零と霊、ポストとモダンの工作者」

展覧会情報：佐藤信太郎個展「都市の相貌」

ふげん社(東京・目黒)

2025年11月28日(金)～12月25日(木)

▶ご注文はツバメ出版流通まで FAX：03-3721-1922 TEL：03-6715-6121
mail：info@tsubamebook.com http://tsubamebook.com

貴店名（番線印）	新刊 ふげん社 https://fugensha.jp 客注のみ（買い切り）	
	注文数	佐藤信太郎『都市の相貌』 ISBN 978-4-908955-46-4 C0072 定価：11,000円（本体10,000円＋税10%）
ご担当：	様	